

副専攻名 地域研究・米英		副専攻のCP(カリキュラム編成方針)			
副専攻「米英コース」では、米英を中心とした英語圏諸国に関する歴史的、社会的、文化的背景について学ぶ諸科目を提供する。英語をさらに実用的なツールとして活用するために不可欠なコンテキストとしての英語圏文化・社会について、広範かつ深い知識を育成するとともに、英語を駆使して活躍する国際人たるに必要な総合的知識基盤と能力の構築を狙う。少人数によるゼミナール形式の授業によって、学生の自発的な学習能力を引き出すことも狙っている					
副専攻の学習成果					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・米英を中心とした、英語圏諸国に関する歴史的、文化的背景への基本的な理解が深まる</li> <li>・主として、米英社会が国際社会で果たしてきた役割、および米英社会の現状についての認識を深めることができる</li> <li>・受け身一方の学習姿勢ではなく、みずから問題を設定し、みずから考え、みずから意見を発表する、能動的な学習姿勢が身につく</li> </ul>					
副専攻を構成する科目					
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	開講期※1	
				前期	後期
52334	米英研究A1	アメリカの歴史、社会、文化に関する主要なテーマに関する理解が得られる。	2～4		
52834	米英研究A2		2～4		
52335	米英研究B1	アメリカ文化の潜在的な構造に着目し、具体的な根拠をもって独自の解釈を提示する能力を養う。	2～4		
52835	米英研究B2		2～4		
52345	アメリカ地域文化論1E	通史を扱う講義を通じ、アメリカ文学・文化についての基礎的な知識を習得することができる	2～4		
52845	アメリカ地域文化論2E		2～4		
52356	米英文化関係論1E	・英語圏の文化・社会の存在様態についての基本的な知識を修得している・英語で書かれた文献を正確に読解し、確実な情報基盤を築く能力を有している。この二つが学生の学習目標である	2～4		
52856	米英文化関係論2E		2～4		
52347	イギリス地域文化論1E	19世紀から現代にかけてのイギリス文学史を理解することで、英語圏文化の理解に必要な知識を身につける	2～4		
52847	イギリス地域文化論2E		2～4		
51308	米英言語思想論	英語論文の精読を通して、現象について深く観察し、理解を深めることで、言語に対する深い洞察力・分析力を身につけると共に、自身の英語力向上に生かせるようにする	2～4		
52350	米英メディア文化論1E	アメリカ文化表象の深層にある集団的思考の方向性を具体的に考察し、論理的に提示する能力を養う	3～4		
52850	米英メディア文化論2E		3～4		
52351	米英環境思想論1E	環境思想の主要な特徴と変遷を理解し、重要なコンセプトを用いて環境をめぐる問題を多角的に考えることができるようになる	3～4		
52851	米英環境思想論2E		3～4		
52337	米英政治・外交論1E	・英語のリーディングやリスニングを上達させる ・政治学及び国際関係の専門用語を紹介する ・国際的な観点から、アメリカの政治・外交史を理解する	2～4		
52837	米英政治・外交論2E		2～4		
52313	アメリカ経済論1	アメリカ経済の構造や世界的役割を把握する	3～4		
52813	アメリカ経済論2		3～4		
51314	北米文化論	英語圏文学・文化の歴史的成立過程をジェンダー・階級・人種の観点から考察し、現代に通ずる課題を読み解いていく。	3～4		
52359	英語圏文化論1E	英語圏の文化表象の考察をとおして現代の諸問題にかかわる価値観を分析し、それについて批判的に考えることができるようになる。	3～4		
52859	英語圏文化論2E		3～4		
52339	米英政治・外交論1	戦後国際政治史を詳細に検討する視野を身につける イギリス政治・外交論の授業を通して、イギリス外交を研究する意義を理解することができる	2～4		
52839	米英政治・外交論2	それにより、日本とイギリスの比較、日米関係と英米関係の比較、日本／アジアとイギリス／ヨーロッパの比較の視点を養うことを可能にする	2～4		
52354	米英研究特論1	米英の文化的諸特徴に関して、通史的に理解できる	2～4		
52854	米英研究特論2		2～4		

※1 開講期は、Webシラバスでご確認ください。